

税制調査会（第4回総会）議事録

日 時：令和6年11月8日（金）14時45分

場 所：WEB併用会議（内閣総理大臣官邸大ホールを含む）

○翁会長

ただいまから、第4回「税制調査会」を開会いたします。

皆様におかれましては、御多忙の中、御出席いただきましてありがとうございます。また、オンラインで御出席の先生方も、どうぞよろしくお願いたします。

本日も公開での開催となりますので、プレスの皆様にもお入りいただいております。それでは、早速ですが議事に入りたいと思います。

皆様御案内のとおり、政府税制調査会は内閣総理大臣の諮問機関となっておりますこと、また、本日は石破総理御就任後の初めての政府税調総会となりますことから、石破総理大臣に御出席いただき、御挨拶を賜ればと思っております。また、林官房長官、赤澤内閣府特命担当大臣、加藤財務大臣、村上総務大臣、橘官房副長官、青木官房副長官、佐藤官房副長官にも御出席いただいております。

それでは、石破総理から御挨拶を頂戴できればと存じます。石破総理、よろしくお願い申し上げます。

○石破内閣総理大臣

政府税制調査会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、日頃から政府税制調査会における議論に精力的に御参加いただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

我が国は、千年単位でも類を見ない人口減少、グローバル化、デジタルの進化など、大きな構造変化に直面する中、失われた30年とコロナ禍での苦難の3年間を乗り越え、賃金もようやく上がるようになってまいりました。

デフレ脱却を最優先に実現するため、経済あつての財政との考え方に立ち、賃上げと投資が牽引する成長型経済を実現しつつ、財政状況の改善を進め、力強く発展する、危機に強靱な経済・財政をつくってまいります。

また、地方こそ成長の主役との発想に基づき、「地方創生2.0」として、新たな施策の展開を図ってまいります。さらに、持続可能な全世代型社会保障制度を構築するとともに、意欲ある高齢者・女性などの就労を促進し、誰もが年齢にかかわらず能力や個性を最大限にいかせる社会を目指してまいります。

例えば、賃金や物価の上昇への対応、働き方に対する中立性の確保、格差の是正及び所得再分配機能の適切な発揮、子育て世帯の負担への配慮といった観点から、各種控除を含めた所得税の在り方が課題であります。

政府税制調査会におかれましては、こうした経済社会の構造変化や課題に対応し、応能・応益負担の原則を踏まえた、公平公正な税制の姿について、中長期的な視点か

ら御議論をお願いいたすものであります。

委員の皆様の御尽力に改めて厚く御礼を申し上げて私からの御挨拶といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○翁会長

石破総理、ありがとうございました。

政府税調におきましては、ただいま総理から賜りました御挨拶にございましたとおり、中長期的な視点から税制の在り方について議論を行ってまいります。

それでは、ここでプレスのカメラの方は御退出をお願いいたします。ペン記者の方々は引き続き傍聴が可能です。

(報道関係者退室)

○翁会長

ここで、公務日程の都合上、石破総理をはじめ政務の皆様は御退席されます。ありがとうございました。

○石破内閣総理大臣

よろしくをお願いいたします。

(政務退室)

○翁会長

総理からの御挨拶を踏まえまして、引き続き経済社会の構造変化を踏まえた税制の在り方について、中長期的な視点から議論を行ってまいりたいと考えております。今後の具体的な議論の進め方などにつきましては、委員の皆様と御相談させていただきながら検討していきたいと思っております。次回以降の開催日時に関しましては、決まり次第、改めて事務局から御連絡いたしますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、本日の議事は以上で終了となりますが、各専門家会合に関しましては、来週以降に順次議論を行っていく予定と伺っております。メンバーになられている先生方におかれましては、そちらでの議論につきましても、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、この辺りで本日は閉会といたします。本日の会議の内容は、この後、私の方から記者会見で御紹介したいと思います。

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして、どうもありがとうございました。

[閉会]